

復興にかける志

東日本大震災から早や 3 年を過ぎました。私共の関心はいつ発生するとも知れない東南海トラフの地震・津波による被害に移り、東北で起こったあの忌わしい災害を忘れてはいませんか。東北の被災者は多くの不安を抱えながらもそれぞれの地で力強く生きておられます。今回ご紹介する“東北発 10 人の新リーダー”は破壊的な被災にも負けず、むしろそれをバネに活躍されている若い世代のリーダー達 10 人の復興にかける志のレポートです。

ごく普通の生活を送っていた人が震災を機に、目の前の現実を素直に見詰め、被災現場ですばやく彼等の持つ潜在能力を発揮し、いまなお行動を続けている物語りです。彼等は語り合う場（カタリバ）をつくることから始め、人の話にとことん耳を傾け、行動を起し、強い思いを持ち続けています。そこには人々との出会いを、ご縁とつながりを大切に、無私の心で謙虚でかつ素直に生きる姿勢が貫かれています。

災害はいつ我が身に降り懸ってくるか予想もつきませんが、それを乗り越えるのは若い力であることは確かのようにです。私は“人と地域を大切にしながら持続可能な陸前高田の街を取り戻す”，“子供たちの無限の可能性を信じ東北から次代のリーダーを（NPO カタリバ）”に感銘を受けましたが、皆さんはいかがでしょう。終章の“未来を創るリーダーシップ”にも目を通してください。

東北発 10 人の新リーダー

ー復興にかける志

田久保善彦編 河北新報出版

（新王子病院 4 階ロビー 私の書棚）

平成 26 年 6 月 12 日

理事長 市丸 喜一郎